

同時資料配布先：

経済産業省記者会

学研都市記者クラブ

2013年10月15日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2013 開催のご案内

当機構の研究成果を広く関係の皆様にご紹介するため、以下の通り「革新的環境技術シンポジウム 2013」を開催する運びとなりましたのでご案内します。

今回のシンポジウムでは、従来の研究成果報告に加え、外部招待講演とポスターセッションを企画致しました。日本は新たな低炭素社会の構築に向けた戦略を方向付ける重要な時期に差し掛かっていることから、招待講演として経済産業省三田紀之大臣官房審議官に気候変動問題の最新動向についてご紹介頂く予定です。また、当機構研究員と Face to Face で情報交換頂く機会としてポスターセッションを設けます。

地球環境問題にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

1. 開催概要

主催： 公益財団法人地球環境産業技術研究機構

後援： 経済産業省、公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、
公益社団法人日本農芸化学会、一般社団法人エネルギー・資源学会、
一般社団法人日本エネルギー学会

日時： 2013年12月4日（水） 13:00-17:10

会場： 東京大学 伊藤謝恩ホール（本郷キャンパス 赤門東隣り）

参加費： 無料

プログラム：

- ・招待講演：気候変動問題の最近の動向について(予定)
経済産業省大臣官房審議官 三田 紀之
- ・基調講演：新たな環境エネルギー政策の展望と課題
RITE 研究所長 山地 憲治
- ・講演1：CCSの実現に向けたRITEの取組の現状と展望
企画調査グループリーダー 都筑 秀明
- ・講演2：最新の科学的知見を踏まえた温暖化対応戦略の分析・評価
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ・コーヒーブレイク・ポスターセッション

- ・ 講演 3 : バイオリファイナリーの世界動向と実用化に向けた取り組み
バイオ研究グループリーダー 湯川 英明
 - ・ 講演 4 : 水素エネルギー社会構築のための無機膜、膜反応器の開発
化学研究グループリーダー 中尾 真一
 - ・ 講演 5 : 地中貯留技術の実用化における CO₂挙動モニタリングの役割
CO₂貯留研究グループ 主席研究員 薛 自求
- (詳細はパンフレット参照願います。)

2. 参加登録

参加希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。
やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先 :

(公財) 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 広報・産業連携チーム
鉄矢、辰巳
TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314

革新的環境技術シンポジウム2013

新たな環境エネルギー政策を踏まえた低炭素社会の構築

2013年12月4日(水) 13:00~17:10
(受付開始12:15)

伊藤謝恩ホール(東京大学) [入場無料]

主催:公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
後援(予定):経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

グローバルな経済成長とともに世界のエネルギー需要がますます増加していきなから、我が国は、国内では安倍政権による攻めの『地球温暖化外交戦略』、国外では国連気候変動枠組条約締約国会議(COP19)への対応や気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による第5次評価報告書(AR5)の公表・承認など、新たな低炭素社会の構築に向けた戦略を方向付ける時期に差し掛かっております。

当機構は、平成2年の設立以来、地球温暖化対策に資する革新的環境技術の確立を目標に、二酸化炭素の回収・貯留(CCS)技術、バイオリファイナリー技術の研究開発を進めるとともに、地球温暖化対策シナリオを作成し、政策提言につなげて参りました。今後は更に、これまで培ってきた技術を踏まえた新たな研究の推進、技術の実用化に向けて取り組んでいくこととしています。

これらの研究開発成果は、新たに策定される政府の「環境エネルギー技術革新計画」にも大きく貢献できるものと確信しております。

今回のシンポジウムでは、当機構がこれまで推進してきた研究開発の成果と今後の展望について発表することとしていますが、従来の講演形式に加えて、ポスターセッションも致します。最新の研究成果をもとに幅広い方々と活発な議論を行う機会にしたいと考えております。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

ACCESS MAP



東京大学 本郷キャンパス
伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール 地下2F

- 東京メトロ丸の内線
「本郷三丁目駅」より徒歩8分
- 都営地下鉄大江戸線
「本郷三丁目駅」より徒歩6分

REGISTRATION

RITEウェブサイト
<http://www.rite.or.jp>
よりお申し込みください。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

〒619-0292 京都府木津川市木津川台9-2

TEL 0774-75-2301

FAX 0774-75-2314

E-mail kaku2013@rite.or.jp



<http://www.rite.or.jp/>

新たな環境エネルギー政策を踏まえた低炭素社会の構築

2013年12月4日(水) 13:00~17:10
(受付開始12:15)

伊藤謝恩ホール(東京大学) [入場無料]

PROGRAM

- | | | |
|-------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 12:15~ | 受付 | |
| 13:00~13:05 | 開会挨拶 | 理事長 茅 陽一 |
| 13:05~13:25 | 招待講演 | 気候変動問題の最近の動向について(予定)
経済産業省大臣官房審議官(環境問題担当) 三田 紀之 |
| 13:25~13:55 | 基調講演 | 新たな環境エネルギー政策の展望と課題
研究所長 山地 憲治 |
| 13:55~14:15 | 講演 1 | CCSの実現に向けたRITEの取組の現状と展望
企画調査グループリーダー 都筑 秀明 |
| 14:15~14:50 | 講演 2 | 最新の科学的知見を踏まえた温暖化対応戦略の分析・評価
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾 |
| 14:50~15:20 | コーヒーブレイク・ポスターセッション | |
| 15:20~15:55 | 講演 3 | バイオリファイナリーの世界動向と実用化に向けた取り組み
バイオ研究グループリーダー 湯川 英明 |
| 15:55~16:30 | 講演 4 | 水素エネルギー社会構築のための無機膜、膜反応器の開発
化学研究グループリーダー 中尾 真一 |
| 16:30~17:05 | 講演 5 | 地中貯留技術の実用化におけるCO ₂ 挙動モニタリングの役割
CO ₂ 貯留研究グループ主席研究員 薛 自求 |
| 17:05~17:10 | 閉会挨拶 | 専務理事 本庄 孝志 |